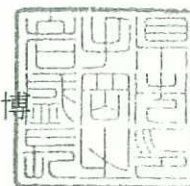


14 盛企第 109 号
平成 14 年 9 月 6 日

盛岡市議会議長 山本武司 殿

盛岡市長 桑島



盛岡市議会・矢巾町議会懇談会の意見等について
平成 14 年 7 月 19 日付け 14 盛議議第 74 号で依頼のあった標記について、別添のとおり回答いたしますのでよろしくお願い申し上げます。
今後とも、市政への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

送付資料

- (1) 盛岡市議会・矢巾町議会懇談会の意見等に対する対応等（平成 14 年 7 月 2 日開催）
- (2) 盛岡市議会広域行政問題懇話会による「矢巾町との共通課題」への対応等



○ 矢巾町との共通課題について

1 盛岡市議会・矢巾町議会懇談会の意見等に対する対応等（平成14年7月2日開催）

【企画関係】

項目	議員からの意見等	現況	今後の対応
1 交通政策	(1) 国道4号の交通渋滞の緩和について、極端な渋滞のときは、旧徳田農協まで渋滞が続いている。多分先頭は、盛岡市だと思う。広域を考えた場合、もう少し渋滞解消に工夫をすべきだと思う。	国道4号から中心市街地・盛岡駅等へ4車線で繋がる都市計画道路開運橋飯岡線・向中野東仙北線等の幹線道路等の整備を行っている。 また、交通渋滞の緩和策としての道路整備には費用と時間がかかることから、交通需要を管理する施策（TDM）を併せて実施している。具体的には、時差出勤やオムニバスタウン整備事業の推進によるバスの利用環境の改善に努めている	左記の整備が進められることにより、国道4号の渋滞箇所における交通の円滑化が図られると考えている。 また、現在、都南ゾーンバス実証運行に向けて旧市場跡地に都南バスターミナル、駐車場、駐輪場を整備中である。これらの施設を活用し、JR矢幅駅などを経由する路線を新設し、バスと鉄道の連結を図る等マイカー削減に努め、より一層交通渋滞の緩和を推進したい。

【保健衛生関係】

項目	議員からの意見等	現況	今後の対応
1 介護保険	(1) 介護保険に係る施設入所待機者の解消について、矢巾町では、見直し作業が進められているが盛岡の待機者数も含めれば、なお施設は不足している現状である。 施設を建てようとする、土地購入分には国からの助成がないため、土地が少しでも安い矢巾町の南の方に建てるしかなく、盛岡市民には不便だと思う。合同の広域行政で対応しなければならないのでは。	介護施設、特に特別養護老人ホームへの入所待機者が急増しており、施設の増設の必要性を強く感じている。これまでは、県から市町村毎に施設の設置枠が示されていたことから、この枠内での整備にならざるを得なく、結果として入所待機者の十分な解消が図れなかった訳であるが、県では今年度中の第2期介護保険事業計画の策定に向けて現在、整備計画の見直しを進めており、この見直しの中で、県に対しベッド枠の拡大等について強く要望している。	現在、県では、広域圏の各市町村から提出された第2期介護保険計画における入所施設の整備計画案に基づき、全体調整作業を進めている。この調整結果に基づき、圏域内の各市町村では整備を進めることとしているが、いずれ、入所待機者の解消については圏域市町村共通の課題という認識にたつて、介護施設の整備を進めるに際しては、これまで以上に矢巾町など隣接町村と十分に連携をとりながら進めなければならないものと考えている。

【産業関係】

項目	議員からの意見等	現 況	今 後 の 対 応
1 農業振興	(1) 農協事業への補助制度について、それぞれの農協で同じように思っても市町村によって補助事業等が違う。生産者の立場にたった補助事業の推進が必要では。	補助事業の一例として、農業用廃プラスチック適正処理経費に対して、市は1kg当たり10円(20万円限度)補助しているが、矢巾町は運搬費の1/2補助である。 また、りんごわい化栽培促進事業では、市は苗木に30/100、支柱に18/100を補助しているが、矢巾町は防除機に1/3補助している。	新規に補助事業として実施することや、補助率を高い方に統一することは財政的に難しいと思われるが、市町の補助事業をできるだけ近づけるよう、農協等と協議して補助対象や補助内容の見直しができるかどうか検討したい。
2 中央卸売市場	(1) 市場運営委員にも参画と書いてあるが、前と違って自由に入れないようなシステムになっているようなので、行きやすい市場にしてもらいたい。 (2) ビッグプロについて、一般の人は購入できないかのようにになっているが、実際は購入できる。法律のこともあるが、安くて評判もよく、もっと宣伝できないものか。 (3) ビッグプロについて、市場については矢巾町議会でも両論がある。計画当初から公設ショッピングセンターをつくるのかというようなニュアンスも感じられたが、市はどういう考えなのか。	公設市場で商取引のできる人は原則的には売買参加者、買出人として承認及び登録している人である。 現在は「市場まつり」などのイベント開催時や視察者として地域住民の方には入場していただいている。 公設市場の中にあり市場利用者が市場内で生鮮食品以外の商品も仕入れできる小売支援施設として営業している店舗となっている。イベント開催時や市場視察として多くの方に利用していただいている。 市場利用者が、生鮮食品以外のものを市場内で仕入れ可能となる小売支援施設として開業したものである。	「開かれた市場」を目指して、住民に市場の機能を理解してもらうためイベント開催の外、気軽に見学できること、また、総合食品センターとしてのイベントを定期的開催していることについて、地域の方に広く周知しようとしているところである。 また、開設区域の代表として、市場運営協議会の委員への参画についても検討しているところである。 開設区域としての矢巾町にも、「夏まつり」など総合食品センターのイベントを広報し、住民の方にビッグプロや市場の機能を理解していただくようとしているところである。 また、気軽に視察に来ていただけるように周知しようとしているところである。 地域住民の方にはイベント開催時や視察などの際に、気軽に市場に来て総合食品センターの機能を理解していただきながら利用していただけることについて、周知しようとしているところである。

	(4) 旧市場跡地について、オムニバスタウン計画の拠点施設というのは聞いているが、それ以外はどうなるのか、将来像を聴きたい。	旧市場跡地は、新市場建設の収支計画に償還財源として売却益を見込んでいるものである。バスターミナル、新幹線沿いの道路用地、福祉施設等を確保した外は、売却する計画となっている。	現在、旧市場跡地の土地利用計画案を作成し、公共用地、売却予定地などについて公表したところである。
3 雇用施策	(1) 雇用の創出について、広域の中で雇用の創出ができるような取り組みが必要ではないか。	平成 14 年 6 月に盛岡公共職安管内の市町村等で雇用対策推進協議会を立ち上げ、雇用創出のための意見交換を行っている。	今後、概ね四半期毎に協議会を開催し、対応を協議していく予定である。

【建設関係】

項目	議員からの意見等	現 況	今 後 の 対 応
1 道路	(1) 田中横道線について、なかなか進まないのが現実だ。	町道田中横道線の延伸する都市計画道路津志田白沢線の盛岡市域部分については、一部区間が土地区画整理事業区域内にあること及び盛岡市都市計画道路整備プログラムとの関係から、早期事業化が困難な状況にある。	当面は、町道田中横道線に接続している市道大沼線に対応したい。この路線は2車線を有しているものの、一部区間に歩道がないことから、本年度から歩道設置を実施し、歩行者の安全な通行を確保することとする。
	(2) 盛岡志和線の県道昇格について、なかなか進まないのが現実だ。	矢巾町道西部開拓線について平成 11 年度から紫波町と歩調を合わせ（仮称）盛岡志和線として県道昇格を統一要望し、一部区間は県道矢巾西安庭線として平成 6 年 3 月に認定となったと伺っている。	今後、西部開拓線に接続している市道の整備状況を見ながら矢巾町・紫波町とも協議し、盛岡市域の県道昇格を一体となって要望することとする。
	(3) 中央卸売市場の関連道路について、赤林横道線ができれば、雫石から来る人も、南から来る人も入りやすくなるが、いつごろできるのか。	赤林横道線は、平成 12 年度末に、町道から盛岡市道に変更し、市が事業主体として進めることとした。本年度から国庫補助事業として実施している。	本年度から用地取得を開始すべく準備作業中である。完成時期は、平成 16 年度末を目標としているが、公共事業縮減の社会的動向等から目標通りの事業進捗は厳しい状況であり、ずれ込むものと思われる。

	<p>(4) 中央卸売市場の関連道路について、西見前赤林線、西仙北北川線の計画道路ができれば非常に格好がよい。新市場を盛り上げるための要望である。</p>	<p>都市計画道路西見前赤林線については、路線の一部が都南中央地区土地区画整理事業区域内に含まれることや東北本線との立体交差化等の関係上から、早期に事業を行うには困難な状況である。</p> <p>都市計画道路西仙北北川線については、岩手飯岡駅西側地区の市街化区域に隣接して構想されている宅地開発計画と一体的な整備を図ることとしている。</p>	<p>市場へ連絡する道路として、都市計画道路西仙北北川線については、宅地開発計画の動向を見極めていくこととし、当面、赤林横道線の整備促進に努めたいと考えている。</p>
	<p>(5) 仙北町の拡幅について、仙北町の拡幅の見通しは怎么样了っているのか。</p>	<p>県営街路事業向中野安倍館線として、仙北二・三丁目地内の盛岡信用金庫仙北町支店前から南へ約 800m 区間について、平成 16 年度末完成を目標に事業中である。しかし、仙北一丁目地内の明治橋南袂から約 140m 区間が未着手となっている。</p>	<p>仙北一丁目地内の未着手区間について、本年 6 月に平成 15 年度統一要望で県知事に対して、直接現地説明を実施し、当該区間の早期整備を要望している。</p>

【水道関係】

項目	議員からの意見等	現況	今後の対応
1 上水道	<p>(1) 築川ダムへの取り組みについて、盛岡市の築川ダムに対する力の入れ具合は。築川ダムについては、当初の経費が倍増し、各自治体の持ち出しも倍になっている。今あちこちで脱ダムの問題が出ているが、盛岡市では問題になっていないか。</p>	<p>築川ダム取水事業は、第7次拡張事業第3期事業の水源として位置付けられ、長期的な街づくりに伴う将来的な水需要に備えて利水参加したものであり、平成11年度における取水事業の再評価において「事業継続」という結果となっており、また、平成13年度水道事業経営審議会においても取水事業の説明を行い、理解は得られている。</p> <p>県営築川ダムは、昨年度の公共工事評価委員会において再評価を行い、事業費が倍増すること、また完成期日が6年延長し平成24年となることという内容で事業継続という結果となった。</p> <p>市議会定例会においては利水参加の見直し意見が出されており、また築川ダム建設の負担金に関する住民監査請求が提出されている。</p>	<p>現在、盛岡市として利水参加に関し基本的な考えは変わっていない。</p> <p>なお、第三者機関による築川ダム取水事業の再評価を平成16年度に予定している。</p>

2 盛岡市議会広域行政問題懇話会による「矢巾町との共通課題」への対応等

[企画関係]

項目	共通課題	現況等	今後の対応	備考
1 交通対策	(1) 乙部から矢幅駅に通じるバス路線の新設。	オムニバスタウン計画における都南地区ゾーンバス実証運行の計画策定の中で検討したい。	乙部地区と矢幅駅の区間に都南ゾーンバス実証運行による支線バスの運行を秋頃、実施する予定である。	

[産業関係]

項目	共通課題	現況等	今後の対応	備考
1 農業振興	(1) 岩手中央農協と盛岡市農協の合併	経営体質の強化や健全化を目指して農協の合併は進められているが、現在両農協においては財務基盤等に格差があることから、盛岡市農協では財務基盤の強化等を内容とした13年度目標の3カ年計画に取り組み、自己資本比率や固定比率の向上等体質の強化に努めてきたが、さらに今年度から16年度目標の3カ年計画を決定し、懸命な自助努力を行っている。	市としても、体質強化のためには一日も早い合併を望んでいるが、そのためには盛岡市農協の財政基盤の強化等が図られるよう見守るとともに、合併の推進について関係機関や両農協に働きかけるなど、一緒に取り組んでいきたい。	
	(2) リンドウやブドウの新品種の産地化を図ってはどうか。	リンドウやブドウの栽培農家が少なく、産地化等についても特に動きは見られない。	生産者も含め、試験機関や関係機関、県等と情報交換を行っていきたい。	
2 中央卸売市場	(1) 今後、どれだけの利用者があるのか。運営についても、近隣市町村に呼びかけて行ふべき。	直接、市場にきて青果水産物を購入できる資格者(売買参加者)は約300人、登録買出人は約1,600人いる。今後、広域圏を初め、利用者の拡大に努めるが、利用人数として予測することは難しい。 また、新市場が矢巾町にまたがっていることから、今後、市場運営協議会の委員としての参加について、検討していきたい。	「開かれた市場」を目指して、住民に市場の機能を理解してもらうためイベント開催のほか、気軽に見学できること、また、総合食品センターとしてのイベントを定期的開催していることについて、地域の方に広く周知しようとしているところである。 また、開設区域の代表として、市場運営協議会の委員への参画についても検討しているところである。	

3 観光	(1) 温泉観光については、滝沢村から紫波町に至るまで、もっと連携を取り全国にアピールを。	関係観光協会と連携しながら、パンフレットやチラシなどを作成し、宣伝に努めていきたい。	矢巾町、紫波町、盛岡市で連携してパンフレット『みちのく湯遊街道』を作成するなど宣伝に努めており、今後においても新たな企画を検討するなど積極的にPRしたい。	
------	---	--	---	--

[建設関係]

項目	共通課題	現況等	今後の対応	備考
1 道路	(1) 滝沢村分岐から矢巾までの西廻りバイパスの計画策定。広域としては、国道4号の渋滞解消になる。	西廻りバイパスのうち、国道46号から主要地方道上米内湯沢線までは一部区間延伸されて整備を行っていますが、国道46号以北の区間及び主要地方道上米内湯沢線以南の区間はまだ計画が定められていない状況であり、盛岡都市圏道路計画推進協議会で概略のルートや構造、環境に対する基礎的事項等について検討を進めているところである。	現在行われている左記の検討等を基本として、今後協議会の中で具体的な方向付けが行われるよう、市としても推進を図って参りたいと考えている。 なお、国道4号における茨島以北から滝沢村分岐までの4車線化については、これから事業実施となるところであり、この事業の見通しの後で西廻りバイパスの具体化がなされるものとされている。	別図 14
	(2) 昭和37年架橋の徳田橋について、架け替え事業推進のため、盛岡市と矢巾町のほか、広域が一体となり働きかけるべき。	平成11年7月に盛岡市長、矢巾町長、紫波町長、盛岡市議会議員、矢巾町議会議員、紫波町議会議員を会員とする徳田橋架替整備促進期成同盟会を設立し、岩手県をはじめとして各関係機関へ早期事業化を働きかけを行っている。	引続き、徳田橋架替整備促進期成同盟会の活動により、平成15年度の新規採択に向け、各関係機関へ働きかけていく。	別図 21

[都市計画関係]

項目	共通課題	現況等	今後の対応	備考
2 住宅政策	<p>(1) 中心市街地活性化法 を利用し、盛岡の中 心地に人を住ませ せる方法の議論も必 要。</p>	<p>「中心市街地活性化法」の施行を受け、盛岡 市では平成 12 年 3 月に「盛岡市中心市街地活 性化基本計画」を策定した。この計画では市街 地の整備改善の基本方針の一つとして『多様な ニーズに対応した都市型集合住宅の整備』を促 進することとしている。この方策として「優良 建築物等整備事業」等を実施することにより市 街地の整備と合わせ都心居住への取り組みを進 めてきている。</p>	<p>「優良建築物等整備事業」は住宅政策としての 中心市街地活性化策の一面を持っており、本事業 の継続的な実施を図っていく。また、高齢者の都 心回帰の傾向に対応し、住居と福祉や介護施設等 が入居する複合的な建築物の建設を促進していき たい。</p> <p>これらマンション等高層建築物の建築に伴う眺 望や住環境への影響については現在要綱やガイド ラインにより指導しているが、条例化による住環 境形成の対応を進めているところである。</p>	
	<p>(2) 若い世代は、矢巾 町、紫波町に住宅を 購入し、そこから盛 岡に通勤するという 実態がある。</p>	<p>周辺町村への住宅購入は購入者の一戸建志向 と盛岡市内での需要に対する供給量の不足、ま た、土地の価額など様々な要因が考えられる が、現在盛岡市では盛岡南地区開発を始め公的 な宅地整備事業や民間デベロッパーによる大規 模住宅団地の整備が進められており、これらの 事業が完了することにより安定した宅地の供給 が見込まれる。</p>	<p>現在進められている事業の早期完了に努めると ともに、盛岡広域都市計画において地域の特性に 応じた適正な市街地の確保に努める。</p>	

[水道関係]

項目	共通課題	現況等	今後の対応	備考
1 上水道	<p>(1) 矢巾町は築川ダムの権利を取得しているが、その完成が平成 20 年代の中頃といわれており、水源を非常に心配している。</p>	<p>県営築川ダムは、治水と水道用水、農業用水、発電用水の利水の確保を目的とした多目的ダムで、水道用水として盛岡市が 31,000m³/日、矢巾町が 5,000m³/日の利水参加している。取水や浄水場等の水道施設整備は、市町共同で実施する予定である。なお、同ダムは、24 年度の完成とされている。</p> <p>現在の矢巾町の水源は地下水であり、12,800 m³/日の取水能力がある。矢巾町の 12 年度における一日最大給水量は 9,082m³/日、最大稼働率は約 71%と、まだ余裕がある状況と考えられる。</p> <p>今後、矢巾町の水需要が増加し、供給不足が見込まれる場合は、本市水道事業に対し支援要請の可能性も考えられるが、その際には市域の安定供給を確保したうえで、対応について検討することとなる。</p>	<p>県営築川ダムは、昨年度の公共工事評価委員会において再評価が行われ、事業費が倍増すること、また完成期日が 6 年延長し平成 24 年となることという内容で事業継続という結果となった。これを受け、県は国土交通省と事業費変更の認可を平成 15 年に行う予定としている。</p> <p>築川ダム水源を利用した水道施設（導水施設、浄水施設）は、「盛岡市と矢巾町の共同施設に関する覚書」により矢巾町との共同施設となっていることから、今後築川ダムを水源とした浄水場の稼働時期、施設規模等について矢巾町と協議を行っていくこととしている。</p>	